



杉並区立沓掛小学校運営協議会だより

杉並区立沓掛小学校運営協議会会長 近藤真司

令和4年度第3回沓掛小学校運営協議会報告（令和4年6月14日）


◆会長挨拶

気がつくと6月ということで、4月5月と1年生が学校になじんできて、だんだん小学生らしくなってきたという所だと思います。今日は天沼中学校の松尾校長先生がいらっしゃっていて、三校合同の話もありますので宜しくお願い致します。

◆校長挨拶・学校の様子

今日は天沼中学校の松尾先生に傍聴ということで来ていただいております。宜しくお願い致します。学校の様子です。5/26～28、6年生が弓ヶ浜移動教室に行き参りました。私も校長として初めての移動教室でしたので緊張して行ってきました。子供達は多くのことを学んできました。今週末から5年生の富士学園の実践に行き参ります。次に熱中症とマスクとの関係です。熱中症対策を優先し、体育の時間や屋外ではマスクを外すように指導しておりますが、外したがない子もいます。何か良いアドバイスがあればお願いします。

武蔵野大学の学生がインターシップをしている南アフリカの小学校と6年生がZoomで交流しました。人種差別が未だに残っている様子を写真等で見る事が出来ました。沓掛の子供が素晴らしいと思ったのは、日本に生まれて良かったというような簡単な感想ではなく、このような状況を改善していきたいというような感想が多かったことです。

70周年の看板は、今年度は「 杉並区立沓掛小学校」を掲示することにし、来年「創立70周年」を加えることにします。今年度の看板の費用は同窓会の口座残額とほぼ同額なので、同窓会口座を解約し、同窓会から寄贈とすることをCSとして了解しました。（現在同窓会役員不在の為、学校運営協議会が代執行しています）

正門の門扉工事、校庭の側溝掃除、虹の橋の修繕、校庭のプラタナス・正門脇の銀杏の伐採、造形砂場の撤去について説明がありました。

<学校の様子>に関する質問・意見

- ・体育等でマスクを外した時に替えのマスクを学校で用意する必要があるのでは？

替えのマスクはランドセルの中に入れて持たせています。外に行くときはチャック付きビニール袋の中に入れて保管しています。

- ・体育の授業等熱中症の危険度が高い時は先生方から声かけをお願いします。マスクを外すのを嫌がる子が多いのでまず保護者が理解して、家庭で指導してもらうことが大切だと思います。保護者の理解を進めるためには、文部科学省からの「外すように」という連絡や、厚生労働省の「マスクは外しても良い」というパンフレットを学校のホームページに掲載する方法もあると思います。
- ・校庭のプラタナスの中に、樹齢100年を超え沓掛小が出来る前からの木があります。根が盛り上がり子供にとって危険であるということであれば、根だけを切り保存する方法もありますので検討して下さい。

◆協議事項(1)三校合同学校運営協議会に向けて

7/13天沼小学校で行なわれる三校合同会議のテーマは、各校の「特色ある教育活動を知る」となりました。沓掛の紹介は、学校が特色ある教育活動と位置づけている読書活動、キャリア教育等を加えてふれあいフライデー、支援本部授業サポート、吹奏楽部、和太鼓クラブを主に説明することになりました。

(2)CS委員は沓掛小の実態を理解し、今後の活動の運営に反映させて行く為に下記の日に授業をご参観下さい。

6月22日（水）校内研究授業（5校時）、6月25日（土）1～3校時、7月9日（土）1～3校時

(3)地域と学校、それぞれの実態を知り、理解を深める為にCS委員と校長の面談を考えています。

次回の運営協議会は7月12日（火）17：00～ 於：開放会議室 傍聴希望者は副校長へ
--